



いのちとくらしをまもる
防災減災

令和6年5月17日
秋田地方気象台

令和6年5月16日に秋田市、男鹿市、潟上市で発生した突風とみられる現象の調査について

～気象庁機動調査班（JMA-MOT）による現地調査の報告～

5月16日16時50分頃に、秋田市将軍野南（しょうぐんのみなみ）で被害をもたらした突風とみられる現象の種類はダウンバーストまたはガストフロントの可能性のあるものの特定には至らなかった。また、5月16日16時30分から17時30分にかけて、男鹿市船川港船川（ふながわみなとふながわ）で被害をもたらした突風とみられる現象の種類は、特定には至らなかった。秋田市・男鹿市ともに突風の強さは不明であった。

潟上市（かたがみし）の被害は、5月17日に発生しており、突風によるものとは確認できなかった。

5月16日に、秋田市で突風が発生し、倒木などの被害がありました。また、男鹿市で突風が発生し、屋根の一部破損などの被害がありました。

秋田地方気象台は、この現象を明らかにするため本日（5月17日）職員を気象庁機動調査班（JMA Mobile Observation Team：JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

秋田市

1 現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性のあるものの特定には至らなかった。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・竜巻を示唆する情報が得られなかった。
- ・ガストフロント通過時にみられる特徴的な観測データが得られた。

2 突風の強さの評定

この突風の強さは、不明である。

（評定に至らなかった理由）

- ・風速を推定するのに十分な根拠が得られなかったため。

男鹿市

1 現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定に至らなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・現象を特定するに十分な情報が得られなかったため。

2 突風の強さの評定

この突風の強さは、不明である。

(評定に至らなかった理由)

- ・風速を推定するに十分な根拠が得られなかったため。

潟上市

現地調査の結果、突風による被害とは確認できなかった。

(根拠)

- ・被害や痕跡、聞き取り調査から、突風に関する情報が得られなかった。

* この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：秋田地方气象台

担当 畠山

電話 018-864-3955

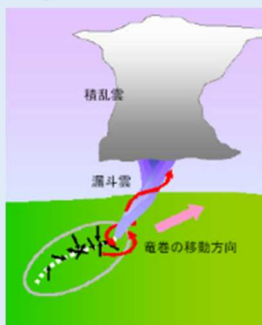
日本版改良藤田スケールにおける 階級と風速の関係

階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況 (参考)
JEF0	25~38m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・物置が横転する。 ・自動販売機が横転する。 ・樹木の枝が折れる。
JEF1	39~52m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離する。 ・軽自動車や普通自動車が横転する。 ・針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53~66m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅の小屋組（屋根の骨組み）が損壊したり飛散する。 ・ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。 ・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 ・墓石が転倒する。 ・広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67~80m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅が倒壊する。 ・アスファルトがはく離したり飛散する。
JEF4	81~94m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離したり脱落する。
JEF5	95m/s~	<ul style="list-style-type: none"> ・低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊する。

突風をもたらす気象現象

突風は、主に台風や前線などに伴う**発達した積乱雲から発生する一時的に強く吹く風**であり、家屋の損壊などの大きな被害をもたらすことがあります。

【竜巻】

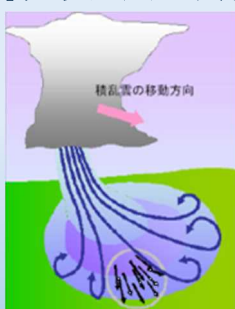


竜巻は、突風をもたらす代表的な現象です。激しい渦巻きでろうと状や柱状の雲を伴います。

被害域は帯状となることが多く、ゴーというジェット機のような轟音がすることがあります。

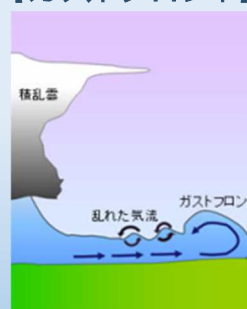
突風をもたらす現象には、他にも以下のようなものがあります。

【ダウンバースト】



積乱雲から吹き降ろす気流が地表に衝突して周囲に吹き出す激しい気流です。被害域は面的に広がります。強雨やひょうを伴うことが多いです。

【ガストフロント】



積乱雲の下に溜まった冷気が周囲に流れ出し、周囲の空気との間に作る境界です。水平の広がりは竜巻やダウンバーストより大きく、数十km以上に達することもあります。